

市街地整備促進特別委員会資料

案件1 阪急高槻市駅南地区市街地整備について

案件2 J R 高槻駅北東地区市街地整備について

平成22年2月15日

【都市産業部】
【市長公室】
【建設部】

案件 2 JR高槻駅北東地区市街地整備について

目 次

- 1 主な経過
- 2 土地区画整理事業
- 3 都市開発事業
- 4 関西大学高槻ミューズキャンパス
- 5 周辺道路整備

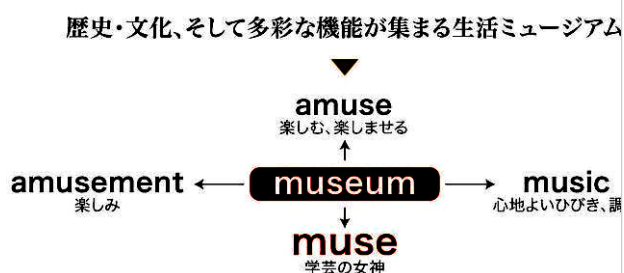
【参考資料】

- 1 「街のシンボルマーク」決定について
- 2 JR高槻駅北東土地区画整理事業 事業計画書 平成22年2月（第2回変更）

1 主な経過

年 月 日	主 な 経 過
平成 21 年 11 月 11 日	市街地整備促進特別委員会
12 月 4 日	組合が第 5 回総会を開催（事業計画変更等）
12 月 10 日	組合が土地区画整理事業の事業計画変更を市に申請
平成 22 年 1 月 13 日	まちづくり協議会が「街のシンボルマーク」決定について市に報告 [参考資料- 1]
2 月 1 日	町境界、町名地番改正の告示
2 月 2 日	土地区画整理事業の事業計画変更を認可 [参考資料- 2]

<まちの愛称 ミューズ高槻>



<ミューズ高槻のシンボルマーク>



【提案コンセプト】

北摂有数の都市でありながら、豊かな自然が人と暮らしに寄り添う高槻の魅力を葉っぱのイメージで構成した人のモチーフで表し、これをシンボルマークの基本エレメントとしています。それぞれ色の異なる4つの人モチーフを組み合わせることで、“MUSE たかつき”の街づくりが目指す【「持続するまちづくりの視点」「施設・機能の視点」「景観形成の視点」「安全・快適な都市生活への視点」】の4つの視点を表現しています。

また、4つの人モチーフが重なり集まるレイアウトは、“MUSE たかつき”が集客魅力にあふれるまちとして生まれ、多世代の活発なふれあい、交流が生まれるイメージを象徴しています。この街がいつまでもサステイナブルなコミュニティとして発展していくことを願い、シンボルマークとしました。

2 土地区画整理事業

1 事業計画変更の概要

(1) 変更理由

資金計画の支出に関する各事業費の見直しや、事業進捗にあわせた年度別資金計画の見直しを行ったため（総事業費の変更なし）

(2) 主な変更内容

①資金計画

(単位：百万円)

	区 分		金 額
収 入	保 留 地 処 分 金		3,320.0
	補 助 金		2,000.0
	合 計		5,320.0
支 出	公共施設整備費	築 造 費	(2,264.7) 2,244.5
		移 転 費	(1,139.0) 1,272.0
		移 設 費	68.2
	上 下 水 道 等 設 置 費		(307.2) 272.7
	整 地 ・ そ の 他 工 事 費		(583.9) 465.6
	調 査 設 計 費		(550.0) 570.0
	事 務 費 等		(407.0) 427.0
	合 計		5,320.0

() 内は変更前

②年次別資金計画

(単位：百万円)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	合 計
事業費	(1,430.4) 1,410.2	(1,818.3) 1,878.7	(1,147.6) 1,276.2	(788.2) 688.2	(135.5) 66.7	5,320.0
組 合	(937.4) 917.2	(1,354.3) 1,407.3	(458.6) 388.2	(434.2) 540.6	(135.5) 66.7	3,320.0
補助金	493.0	(464.0) 471.4	(689.0) 888.0	(354.0) 147.6	—	2,000.0
国	236.5	(161.0) 164.7	(154.5) 254.0	(114.0) 10.8	—	666.0
府	236.5	(161.0) 164.7	(154.5) 254.0	(114.0) 10.8	—	666.0
市	20.0	142.0	380.0	126.0	—	668.0

() 内は変更前

[参考]

① 土地利用計画 【変更なし】

(単位：㎡)

区 分	現 況 面 積	計 画 面 積
公共用地	5,301.66	25,687.49
宅 地	87,267.27	66,881.44
権利地	87,267.27	59,149.44
保留地	—	7,732.00
合 計	92,568.93	92,568.93

② 減歩率 【変更なし】

区 分	減歩面積 (㎡)	減 歩 率
公 共 減 歩	20,385.83	23.36%
保留地減歩	7,732.00	8.86%
合 算	28,117.83	32.22%

2 公共施設整備

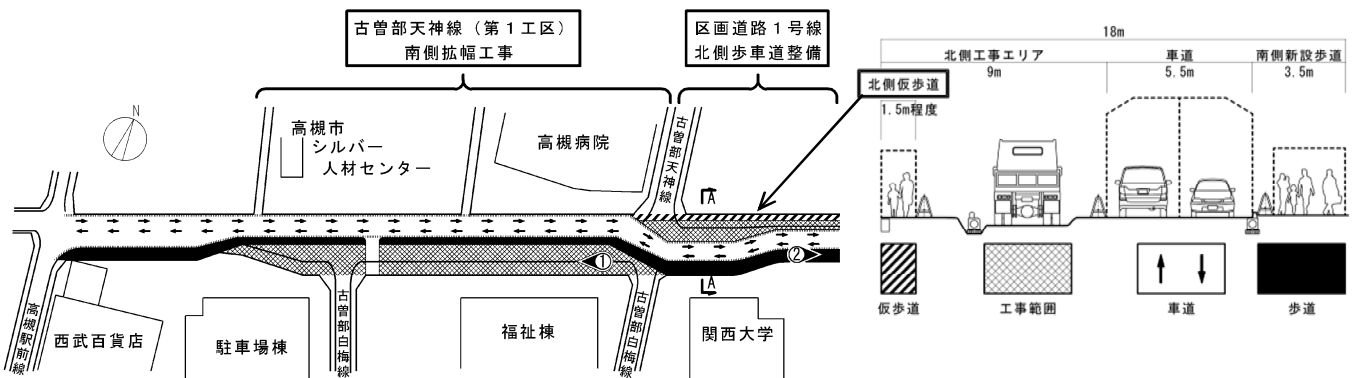
(1) 平成 21 年度事業の主な執行状況

① 現在の整備状況

年 月	～平成 22 年 1 月末
工事内容	古曾部天神線（第 1 工区）：南側拡幅工事 区画道路 1 号線：南側拡幅仮整備完了 その他工事：上水道工事、下水道工事、水路工事（一部区間を除き完了）
	区画道路 1 号線南側歩道を仮歩道として一般開放（1 月 29 日～）

平面図（1 月 29 日～）

A-A 断面図



(写真撮影位置：①)



(写真撮影位置：②)

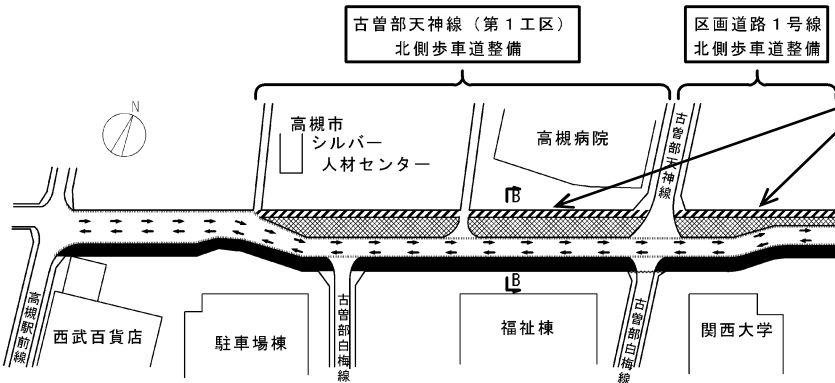
補助金執行状況

工事内容	(都) 古曾部天神線ほか新設改良工事等	
	市補助金	国・府補助金
当初予算額	142 百万円	328 百万円
執行見込み額	91 百万円	177 百万円
繰越見込み額	51 百万円	151 百万円

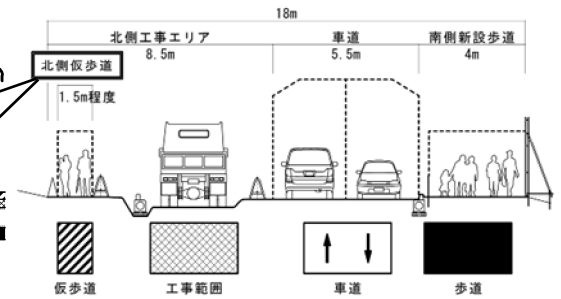
②今後の工事予定について

年 月	平成 22 年 2 月～
工事内容	古曾部天神線（第 1 工区）：南側拡幅工事（2 月下旬に仮整備完了）、 北側歩車道整備（3 月～）
	区画道路 1 号線：北側歩車道整備
	関西大学高槻ミュージックキャンパスの開校を見すえ、古曾部天神線（第 1 工区）の 南側歩道を一般開放（2 月下旬～）

平面図（2月下旬～）

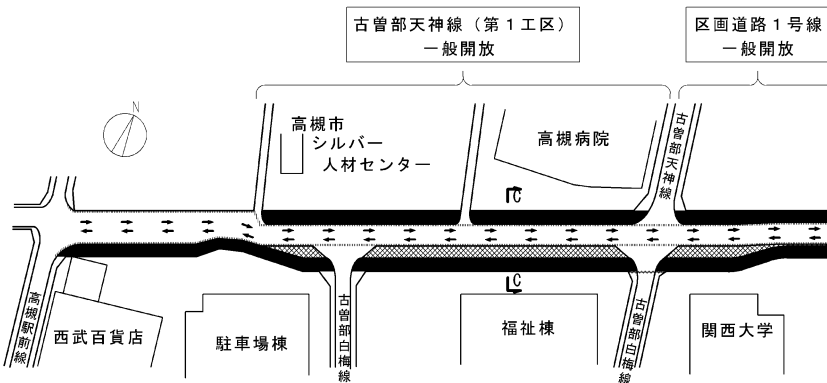


B-B断面図

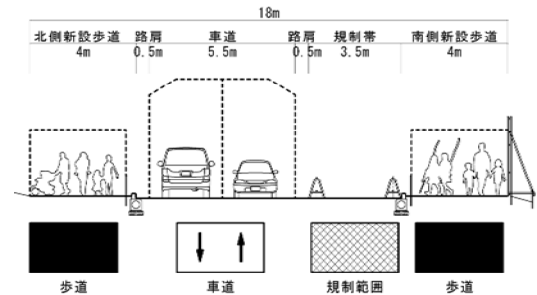


年 月	平成 22 年 6 月下旬
状 況	○ 平成 21 年度事業完了 古曾部天神線（第 1 工区）：仮整備完了、一般開放 区画道路 1 号線：仮整備完了、一般開放

平面図（6月下旬～）

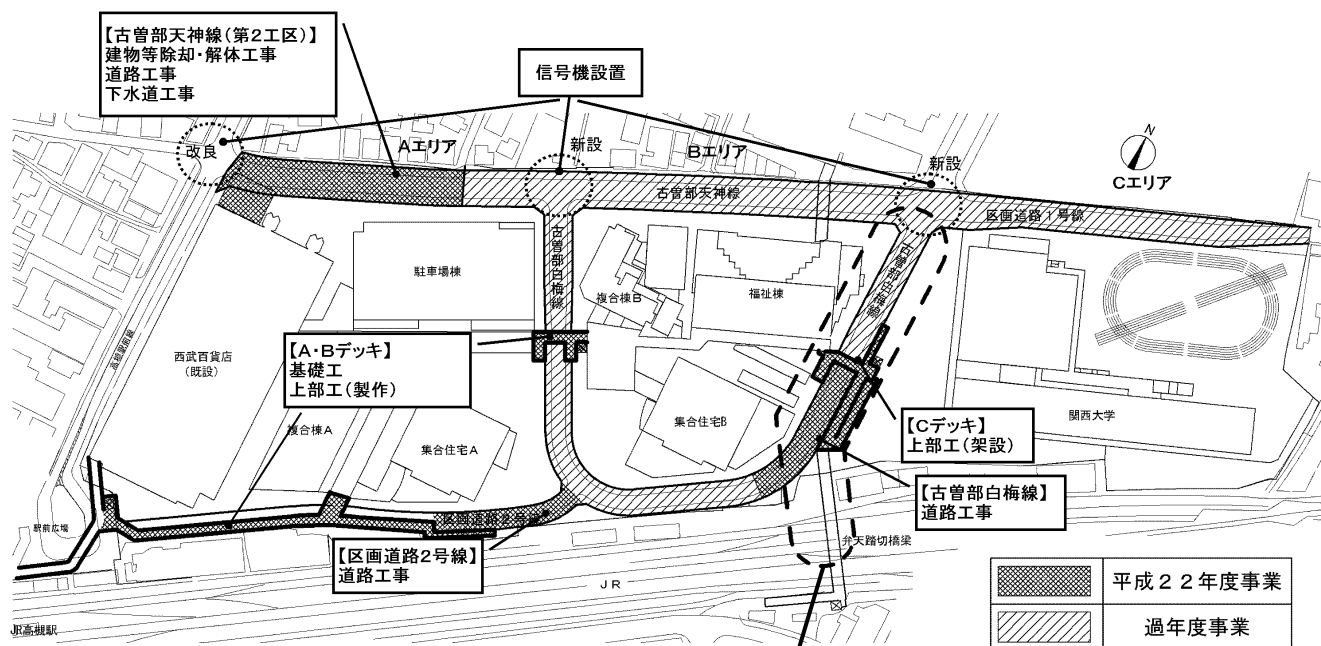


C-C断面図



(2) 平成22年度の主な予定

対象	事業予定
古曽部天神線	第2工区を整備し、平成22年度末の全線供用開始
Cデッキ・古曽部白梅線	平成22年12月の弁天踏切橋梁開通にあわせた整備
その他	建物等除却・解体工事着手（平成22年7月頃予定） 信号機設置（平成23年3月頃予定）



【弁天踏切橋梁完成時（平成22年12月からのルート図）】

